

# 大和大学 SNS ガイドライン（学生向け）

ことばは残る。人も、未来も守れる。

## はじめに

SNS は学びや活動を広げ、誰かの役に立つ発信ができる場所です。一方で、たった一つの投稿が、誰かを傷つけたり、自分の将来を狭めたりすることもあります。このガイドラインは「禁止」を並べるためではなく、安心して SNS を使い、あなたと周りの人を守るための“行動の目安”です。

## 1. 対象と範囲

- 対象：大和大学に所属する学生・教職員
- 対象 SNS：X、Instagram、Facebook、TikTok、LINE など、SNS・メッセージアプリを含むオンライン発信全般
- 「公開アカウント」「鍵アカ」「裏アカ」「グループ LINE」も含みます（鍵や限定公開でも、スクリーンショットや転載で外に出ることがあります）。

## 2. 投稿前の「5 秒チェック」

投稿ボタンを押す前に、次の 4 つを確認してください。

1. それは本当？（憶測・伝聞・切り取りではない）
2. 誰かの“名誉・プライバシー”を傷つけない？（顔・名前・所属・位置情報・事情）
3. 今だけでなく、1年後の自分が見ても大丈夫？（就活・進学・評価・信頼）
4. 大学の仲間として誇れる？（自分も相手も守れている）

迷ったら：投稿しない／一晩置く／信頼できる人に相談。

## 3. 大和大学の SNS 「10 の約束」

### ① 人を“ネタ”にしない

- 友人・教職員・他大学・地域の人を、からかったり晒したりしない。

- 内輪ノリは、外から見ると攻撃に見えることがあります。

## ② 個人情報“自分のも、他人のも”守る

- 顔写真、氏名、学籍情報、連絡先、成績、相談内容は慎重に。
- 「〇〇学部の△△（フルネーム）」+写真+場所、の組み合わせは特定につながります。
- 位置情報（GPS）付き投稿・背景の掲示物（時間割、名札、名簿）にも注意。

## ③ 許可なく撮らない、載せない

- 授業中・ゼミ・学内イベントの撮影や投稿は、主催者のルールに従う。
- 友人の顔、教室の様子、名札、提出物などは本人/関係者の同意が基本。
- “写り込み”は思っている以上にトラブルになります。

## ④ 誹謗中傷・いじり・断定をしない

- 「あの先生最悪」「あの学生やばい」などの断定・人格攻撃はNG。
- 不満や批判を書くなれば、事実ベース+敬意+改善提案を意識。
- 怒りのまま書かない（感情がピークの投稿はだいたい失敗します）。

## ⑤ デマ・拡散・AIの悪用に加担しない

- “それっぽい”情報やAI生成の疑いがあるほど要注意。一次情報（公式発表・信頼できる出典）を確認。
- 善意の拡散が、誰かを追い込むことがあります。

## ⑥ 著作権・引用・AI利用のルールを守る

- 画像・動画・音源・資料の無断転載は避ける。
- AI生成物を利用する場合も権利侵害や無断転載・無断借用にならないよう配慮する。
- 引用は「出典」「引用部分の明確化」「必要最小限」を意識。
- 配布資料・スライド・試験に関する内容は特に慎重に。

## ⑦ 学内の“内側の情報”は外に出さない

- 会議・学内運営・トラブル対応・未公開情報（人事、成績、学生対応、研究情報など）は投稿しない。
- 「これぐらいなら…」が炎上の入口になりがちです。

## ⑧ 大学の一員として“名乗る”ときは誠実に

- 所属を名乗るなら、発言が大学の印象に影響します。
- 個人の意見として述べる場合は、プロフィール等に「発言は個人の意見です」を添えるのも有効です（ただし免罪符ではありません）。

## ⑨ 争いは“勝つ”より“終わらせる”

- 反応が荒れたら、言い返すほど燃えます。
- 反論より離脱、必要ならミュート・ブロック・通報。
- できれば、当事者同士の対話は SNS 外で。

## ⑩ 困ったら、一人で抱えない

- 晒し・脅し・なりすまし・執拗な攻撃を受けたら、証拠（URL/日時/スクショ）を残す。
- 反応せず距離を置く。
- 早めに大学の相談窓口（担任・ゼミ担当・学生相談室等）へ。

## 4. プラットフォーム別の注意ポイント（短く）

- X：拡散が速い／文脈が切り取られやすい → 断定・皮肉・名前出しに注意
- Instagram：写真が情報の塊（顔・場所・交友関係） → 背景の掲示物や位置情報に注意
- Facebook：実名文化／関係者に届きやすい → 誰に見られても困らない内容に
- TikTok：動画は再利用されやすい → 音・映り込み・制服/名札/建物特定に注意
- LINE：閉じた空間でもスクショで外に出る → グループ内の悪口・晒し・圧はしない  
（「回して」は NG）

## 5. よくある「OK 例 / NG 例」

### NG 例

- 「〇〇先生、授業下手すぎ」
- 教室の写真に、名札・名簿・課題内容が映り込む
- 友人の失敗動画を許可なく投稿
- 「〇〇って不正してるらしい」など根拠のない噂や AI フェイクを拡散
- 学内の未公開トラブルを“実況”する

## OK 例（言い換え）

- 「この部分が難しかった。こういう補足があると助かる」
- 写真は顔が特定されない角度＋掲示物が映らない構図＋同意を取る
- 噂は拡散しない。気になるなら公式情報を待つ／関係窓口へ

## 6. 大和大学としてのお願い

SNS は、あなたの学びや活動を広げる強い味方です。だからこそ、自分を守り、隣の人を守る使い方を選んでください。“投稿しない判断”も、立派な判断です。

（相談先の例）学生：担任・学生相談室等／教職員：所属部署の管理職等